

令和5年度 経営改革プラン

団体名	一般財団法人神戸市水道サービス公社
-----	-------------------

設立年月日	昭和40年8月13日	
団体の設立目的・沿革	神戸市内における水道の円滑な利用の促進と適正かつ合理的な維持管理を行うために必要な事業を行い、もって神戸市水道事業の合理的な運営と市民福祉の向上に寄与する。	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	期間満了メーター取替事業	水道局配水課
	施設管理事業	水道局技術企画課・自主事業
	調査・システム管理等事業	水道局配水課・技術企画課 自主事業
	管工事事業	水道局配水課・技術企画課 健康局斎園管理課
代表者	理事長 森下 貴浩	

役職員数 (令和6年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合 計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		21	21
神戸市派遣職員	1	-	-	-		6	7
神戸市OB職員	1	-	-	-	17		18
その他	-	5	-	2	7	1	15
合 計	2	5	-	2	24	28	61

財務状況 (単位：百万円)	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	18	8	10
当期正味財産増減額	19	9	10
流動資産	528	410	118
流動負債	213	114	99
長期借入金 (固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	219	117	102

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	水道事業の効率化と広域連携を通じた水道技術の継承
ミッション②	水道局からの新たな業務受託を通じ、民間事業者の育成と技術移転を推進

■短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	経営改善の推進と自立経営の確立
ミッション②	中長期的なミッションを達成するための体制強化と技術移転の推進

■経営指標（令和5年度）

経営指標				令和4年度	令和5年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.185	0.363	0.2ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	37.51%	39.18%	1.7ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	1.86%	3.24%	1.4ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	141.33%	108.25%	▲33.1ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	358.10%	247.33%	▲110.8ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	60.11%	50.45%	▲9.7ポイント
持続性	自己資本当期純利益率(ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	3.34%	6.64%	3.3ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	3.34%	6.64%	3.3ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名		令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション													
水道事業の効率化と広域連携を通じた水道技術の継承	<ul style="list-style-type: none"> <li>品確法に基づく受託による市水道事業への貢献</li> <li>他局・他都市業務の受託</li> <li>他都市業務受託拡大に対応できる人材の確保・育成</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>他都市業務受託の拡大</li> <li>技術継承</li> </ul>								
	水道局からの新たな業務受託を通じ、民間事業者の育成と技術移転を推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道局の3業務（漏水調査・施設巡回業務・水栓作業補助）における受託範囲・量の拡大</li> <li>漏水調査・施設巡回業務・水栓作業補助の民間事業者の育成及び技術移転の検討</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>3業務の受託拡大及び一部業務の民間事業者への技術移転の拡大</li> </ul>								
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション													
経営改善の推進と自立経営の確立	他都市ニーズのさらなる把握及び他都市業務等の受注									組織効率化の検討及び令和6年度における黒字経営の確保			
	中長期的なミッションを達成するための体制強化と技術移転の推進		3業務の受託・拡大									民間連携の準備・着手	
		漏水調査業務における民間連携実施方法の詳細検討						採用活動（インターンシップ等）・人材確保（令和6年度採用試験）					
		派遣職員や市OB職員によるOJT・資格取得推進などによる固有職員の育成の推進（技術力の強化）											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標</p> <p>(できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市からの業務受託を拡大しつつ自立経営を実現し黒字経営を目指す。</li> <li>・水道局受託業務を通して水道事業の効率化に貢献するとともに、業務実施を通じて培ったスキルを活用し、民間事業者の育成と技術移転の推進を目指す。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業規模や受託業務の変化にあわせた組織体制の見直し、効率化を図る。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DXをさらに推進するため、プロジェクトチームを立ち上げ、業務改善、経営の効率化を図る。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規採用を継続し引き続き2名以上の人材を確保するとともに、採用の幅が広がるよう採用型インターンシップの実施に取り組む。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・固有職員3名以上において公社経営に有用な資格を新たに取得するなど、計画的に固有職員のスキルアップを図り人材育成を強化する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務受託のために必要な技術士、土木施工管理技士等の資格取得を固有職員1名以上において取得する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水栓作業補助業務について新たに受託し、3業務すべてを受託する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3業務のうち、漏水調査業務において受託拡大を図る。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3業務について民間連携の方法について検討を進め、民間事業者を育成し、技術の継承・移転に取り組む。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他都市等業務受託に向け、近隣市等への個別の営業活動に加え、県下事業者が集まる場等を活用し営業活動（1回以上）を実施する。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣他都市等のニーズ把握をさらに努め、新規業務を受託し、安定した受注を推進する。</li> </ul>		

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

## ■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

### （１）中長期的ミッションの達成状況

・他都市等からの受託業務を拡大（R4 9件→R5 12件）するとともに、技術職員の継続的な採用（R5:3名）や職員の資格取得の促進を図り、水道技術の継承に努めた。

・漏水調査（R5から受託範囲を市内全域に拡大）について、受託範囲を拡大するとともに、業務の一部を民間事業者が実施するなど民間事業者の育成と技術移転の推進に取り組んだ。

### （２）短期的ミッションの達成状況

・県内水道事業ワンストップ相談窓口の設置により他都市の支援を行う（R4 24件→R5 31件）とともに、工事監理・水道施設管理業務など受託事業の拡大につなげた。

・技術職員の人材確保のため、学校訪問(市内2校)や、インターンシップの受入（2名）等の採用活動を実施するとともに、資格取得支援等により職員の育成に取り組んだ。

・3業務のうち漏水調査については民間事業者と共に作業を実施し(R5～)、施設巡回業務も民間事業者を発掘するなど、具体的な技術移転に向けた取り組みに着手した。

### （３）市政への貢献・市民への還元状況

・水道局や他局の技術的業務の需要の増加に対応し、公社の技術力を活用し貢献した。（受託件数：R5 22件）

・水道局から漏水調査・施設巡回の業務を受託し民間の育成と業務移転を進めることで水道事業の効率化に貢献した。

・小規模受水槽の啓発事業等を実施し、市民福祉の向上に貢献した。

■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

(1) 総合的意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水調査の一部を民間が実施するなど、民間への技術移転に向け着実に取り組んでいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道局からの新たな業務の受託や周辺他都市のニーズ把握・業務の受託拡大に取り組んでいる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、事業拡大を図り、一層の経営努力により自立経営を実現できるか見極めたい。</li> </ul>

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道局3業務（漏水調査・施設巡回・水栓作業補助）のうち、漏水調査については、受託範囲を拡大するとともに、業務の一部を民間事業者が実施し、技術移転を進めた。施設巡回業務については、受け皿となりえる民間事業者の調査を進め、業務の一部を実施する事業者を確保した。</li> <li>・一部スケジュールの遅れはあるものの、3業務の民間への技術移転に向け取組を進めることができた。</li> <li>・本市水道事業が直面する大きな課題である老朽配水管更新においても、公社の知識や技術力を活かしながら局の補完的役割を担い、更新のペースアップに貢献することを期待している。</li> </ul>
短期的ミッション	<p>他局・周辺他都市の新たなニーズを把握しながら公社の技術力を活かした業務を積極的に受託し、令和5年度も引き続き黒字を確保した。</p> <p>また、民間への技術移転に向け、漏水調査・施設巡回業務については、受託範囲の拡大と民間事業者の技術育成を進めた。</p>
団体目標の達成状況	<p>職員の新規採用を継続するとともに、スキルアップのための資格取得を促進するなど、業務拡大に向けた人材の確保・育成に取り組んだ。また、県内水道事業ワンストップ相談窓口業務を通じて、近隣他都市等のニーズ把握に勤め、業務受託につなげた。</p>
市への貢献・市民への還元状況	<p>水道局からの受託業務を拡大し、民間への技術移転を進めるとともに、他局・周辺他都市の業務を積極的に受託し、水道事業の効率化・水道技術の継承に貢献した。</p>

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体
  継続的な見直しを要する団体
  取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体